

福生市議会だより

FUSSA

No.187

発行 福生市議会
平成25年4月25日

〒197-8501 福生市本町5番地
☎042 (551) 1511 (代表)
☎042 (551) 1523 (ダイヤルイン)

平成25年 第1回定例会

平成25年度予算を可決

一般会計及び各特別会計346億9千6百万円

本会議の経過

平成25年第1回定例会は、2月26日から3月26日まで会期29日間で開催され、18人の議員による一般質問を行った後、条例の制定・一部改正、補正予算、各会計予算など市長提出議案33件、委員会提出議案3件、陳情などが審議されました。

▼1日目(26日)は、一般質問の通告人数や通告時間、議案を付託する委員会の開催日等を考慮して、定例会の会期を29日間と決定しました。続いて、新年度へ向け

て市長の施政方針、教育委員会委員長から教育委員会の基本的な考え方が述べられ、その後、委員会提出議案2件と市長提出議案1件を慎重審議の上、即決で可決した後、6人の議員が一般質問を行いました。

▼2日目(27日)は、7人の議員が一般質問を行いました。

▼3日目(28日)は、5人の議員が一般質問を行い、18人の議員の一般質問を終了しました。

▼4日目(1日)は、横



卒園おめでとう!

「たっけー☆☆」が手作りの花びらとハイタッチでお見送り
みんなの願いが、かないますように☆☆

▼5日目(26日)は、最終日で、委員会へ付託された議案30件を可決し、新たに委員会提出議案1件を慎重審議の上、即決で可決し、また、新たに提出された陳情書の3件については、委員会において結論が出され、委員長より報告の後、採決の結果、1件は採択、2件は継続審査となり、今定例会を終了しました。



委員会提出議案第3号 東京都住宅供給公社の家賃値上げ反対等に関する意見書

東京都住宅供給公社は、平成22年10月から一方的に家賃値上げを実施し、その後の家賃については、前家賃の据え置き、もしくは若干の引き下げが行われた。しかし、東京都住宅供給公社は3年ごとの取り決めとして、平成25年には再度値上げを含む改定を実施しようとしている。

現在の住民の生活実態について、東京都住宅供給公社自治会協議会が実施したアンケート調査によれば、3年前と比較して世帯の年間収入は24万円減少し、平均282万円を割り込んでいる。「生活が苦しくなった」との回答は71%を占め、65歳以上の高齢者の60%以上の住民が切り詰めた生活を余儀なくされている実態が浮かび上がってくる。

家賃値上げの法的根拠である地方住宅供給公社法施行規則第16条は、単に近傍同種の住宅の家賃に引き上げるといふのではなく、このアンケート調査で住民の実態が示されたように、住民の意向を十分に反映させることが必要との意味であると考えます。

また、公営住宅における定期借家制度についても、平成12年2月の政府見解で、公営住宅は、住宅に困窮する

低所得者のために賃貸する住宅であり、特段の事由がない限り、居住が継続することを前提とした制度として成り立っているとしており、定期借家制度はなじまないことから見直しが必要と考えるものである。

さらには、少子高齢社会の時代の要請に応えられるよう、子育て世代や高齢者世帯が、安心して住める「安くて良質で誰でも入居できる公共賃貸住宅」の建設の推進が望まれる。

よって、福生市議会は、東京都及び東京都住宅供給公社に対し、次のような措置を講ずるよう強く要望する。

- 1 平成25年以降の家賃改定には、住民の意向を十分反映させること。
- 2 公営住宅における「定期借家制度」を見直すこと。
- 3 現下の住宅事情を改善する「安くて良質で誰でも入居できる公共賃貸住宅」の建設を推進すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

【提出先 東京都知事、東京都住宅供給公社理事長】

陳情

今定例会の各委員会で審査され、採択となった陳情は次のとおりです。

◆採択

○東京都住宅供給公社の家賃改定と定期借家制度の見直し並びに安心の公共賃貸住宅の建設に関する陳情書(第25-1号)

主な内容

可決された案件	2面
議会誌	2面
予算審査から	3面
一般質問	4~6面
委員会の審査	7面
議会の動き	8面
特別委員会活動	8面

可決された案件 (要旨)

◎全員賛成 ▽賛成多数

◎福生市議会会議規則の一部を改正する規則

本会議で公聴会の開催、参考人の招致ができるよう定めるもの。

◎福生市議会委員会条例の一部を改正する条例

常任委員の所属に関する事項、特別委員の在任期間規定を追加するもの。

◎福生市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例

政務調査費の名称を政務活動費に改め、使途の透明性確保のため経費の範囲を条例に定めるもの。

◎福生市行政手続条例の一部を改正する条例

すみれ保育園の民営化に伴い、保育所に関する規定を削除するもの。

▽福生市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例の一部を改正する条例

民間事業者やNPO法人等も公募によらない候補者として選定できるように定めるもの。

◎福生市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

一般事務嘱託員、学校

事務嘱託員及び図書館嘱託員の報酬額を改定するもの。

◎福生市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例

福生市教育委員会教育長の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例

一般職員と同様に通勤手当を支給できるよう整備するもの。

◎福生市の一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

管理職の給料月額、期末手当及び勤勉手当の支給割合を改定し、管理職手当を定額化並びに扶養手当の支給対象者から部長級職員を除外するもの。

◎福生市行政財産使用料条例の一部を改正する条例

公共施設での自動販売機の設置に係る使用料の規定を追加し、売上金額に対し付加使用料を徴収するもの。

◎福生市体育施設条例の一部を改正する条例

指定管理者による管理に関する規定の整備及び市営競技場、市営武蔵野台テニスコートの開場時間の延長を定めるもの。

◎福生市駅前駐車施設の設置及び使用に関する条例の一部を改正する条例

牛浜駅西口タクシー駐車場を追加するもの。

◎障害者自立支援法等の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例

引用する法律等の名称を改め関係する三条例を改正するもの。

◎平成24年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ3164万2千円を追加するもの。

◎平成24年度福生市一般会計補正予算(第4号)

一般会計予備費から国保特別会計繰出金への1千6百万円の補正で、総額に変更はないもの。

▽平成24年度福生市一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出それぞれ1億3785万5千円を追加するもの。

▽平成24年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

歳入歳出それぞれ6478万2千円を追加するもの。

◎福生市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護の方法に関する基準を定める条例

指定地域密着型介護予防サービスに関する基準を定めるもの。

◎福生市工場立地法地域準則条例

工場を立地する場合の敷地面積に対する緑地及び環境施設の面積の割合について、適用すべき地域準則を定めるもの。

◎福生市都市公園条例の一部を改正する条例

都市公園及び公園施設の設置に関する基準を定め、用語を整理するもの。

◎福生市営住宅条例の一部を改正する条例

市営住宅の整備基準、入居者資格に係る収入基準等を定めるとともに戸数の変更をするもの。

◎福生市下水道条例の一部を改正する条例

公共下水道の構造の技術上の基準等を定めるとともに下水の水質基準の追加等をするもの。

◎福生市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例

指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定めるもの。

◎福生市都市公園における道路構造の技術的基準に関する条例

道路構造の寸法を定めるもの。

◎福生市都市公園における移動等円滑化の基準に関する条例

都市公園における特定公園施設のバリアフリー化等に関する基準を定めるもの。

◎福生市市道における道路構造の技術的基準に関する条例

道路構造の寸法を定めるもの。



▲指定管理となる市営プール

討論

◎平成25年度福生市一般会計予算

横田基地が返還された場合の跡地の有効活用で福生市の豊かな未来を開く方向に政策転換する考えもなく、基地の存在は動かさずという立場から出ようという。国民健康保険税を大幅に引き上げる一方、駅前自転車駐輪場や学校給食の無料化はせず、商店振興策の予算配分も不十分である等の問題が含まれた予算であり、反対する。

賛成

横田基地が返還された場合の跡地の有効活用で福生市の豊かな未来を開く方向に政策転換する考えもなく、基地の存在は動かさずという立場から出ようという。国民健康保険税を大幅に引き上げる一方、駅前自転車駐輪場や学校給食の無料化はせず、商店振興策の予算配分も不十分である等の問題が含まれた予算であり、反対する。

賛成

横田基地が返還された場合の跡地の有効活用で福生市の豊かな未来を開く方向に政策転換する考えもなく、基地の存在は動かさずという立場から出ようという。国民健康保険税を大幅に引き上げる一方、駅前自転車駐輪場や学校給食の無料化はせず、商店振興策の予算配分も不十分である等の問題が含まれた予算であり、反対する。

賛成

横田基地が返還された場合の跡地の有効活用で福生市の豊かな未来を開く方向に政策転換する考えもなく、基地の存在は動かさずという立場から出ようという。国民健康保険税を大幅に引き上げる一方、駅前自転車駐輪場や学校給食の無料化はせず、商店振興策の予算配分も不十分である等の問題が含まれた予算であり、反対する。

賛成

横田基地が返還された場合の跡地の有効活用で福生市の豊かな未来を開く方向に政策転換する考えもなく、基地の存在は動かさずという立場から出ようという。国民健康保険税を大幅に引き上げる一方、駅前自転車駐輪場や学校給食の無料化はせず、商店振興策の予算配分も不十分である等の問題が含まれた予算であり、反対する。

◎福生市市道における道路構造の技術的基準に関する条例

道路構造の寸法を定めるもの。

道路構造の寸法を定めるもの。

「議会日誌」

日	内容
29日	和歌山県有田市視察来市
25日	例月出納検査
23日	促進協議会第2委員会
22日	西多摩地区消防連合協議会
21日	西多摩地区消防連合協議会
18日	定期監査
17日	財政援助団体等監査
11日	東京都市監査委員会監査委員研修
7日	瑞穂斎場組合議会定例会
5日	市議会議員共済会代議員会
28日	議会議事委員会
27日	議会議事委員会
26日	議会議事委員会
22日	議会議事委員会
21日	議会議事委員会
20日	議会議事委員会
19日	議会議事委員会
18日	議会議事委員会
17日	議会議事委員会
16日	議会議事委員会
15日	議会議事委員会
14日	議会議事委員会
13日	議会議事委員会
12日	議会議事委員会
11日	議会議事委員会
10日	議会議事委員会
9日	議会議事委員会
8日	議会議事委員会
7日	議会議事委員会
6日	議会議事委員会
5日	議会議事委員会
4日	議会議事委員会
3日	議会議事委員会
2日	議会議事委員会
1日	議会議事委員会



平成25年度 予算の概要

一般会計予算を 4日間集中審査！

今定例会に、平成25年度一般会計予算と特別会計予算を合わせて346億9531万1千円が提出され、一般会計予算審査は予算審査特別委員会が4日間、特別会計予算審査は建設環境委員会及び市民厚生委員会が各1日間行われ、通算6日間にわたり慎重に審査され、それぞれ原案のとおり可決されました。

平成25年度の一般会計予算は217億3千万円で、前年度に比べて1.6%の減少となりました。
特別会計予算は129億6531万1千円で、前年度に比べて1.8%の増加となり、一般会計と特別会計を合計した当初予算額は346億9531万1千円で、前年度に比べて0.3%の減少となりました。

一般会計予算の審査から

25年度の予算の特徴は

問 平成25年度予算の特徴的な点、例年と異なる点は。

答 予算規模は、牛浜駅自由通路整備事業などの大規模事業の終了に伴い、前年度比で3億4千7百万円、1.6%の減となっている。特徴的な点としては、地域防災計画の改定や防災マップの作成、小中学校における災害時の帰宅困難者の対策としての災害時備蓄品の整備や学校体育館の非構造部材の調査など、市民の安全安心を守る取り組みを

が可能となるなど納税者の利便性が高まったが、コンビニでの納付の利用率について伺う。

答 コンビニ収納は平成23年度から開始したが、利用率は大変好調で、直近の平成25年1月末の実績で、市税では、納付書利用者のうち、31.9%の方に利用いただいている。特に軽自動車税では60.9%という高い利用率となっており、非常に好評である。

地方交付税と臨時財政対策債について

問 臨時財政対策債をどう活用するかは、どの自治体にとっても大きな政策的なポイントであるが、福生市として、公債費比率との関連で、どの程度が臨時財政対策債の占める割合として適切と考えるか。

答 福生市は3.2%だが、どの程度が適切かについては、低ければ低いほどよいと考える。あくまでもこれは一般財源の不足を補うための借金であり、限度額いっぱい借りて使うという考えはない。切り詰めてやりくりし、どうしても足りないという形で、できるだけ後年度に負担をかけない財政運営が必要である。

自転車等駐車場使用料割引負担金について

問 自転車等駐車場使用料割引負担金として、平成25年度は650万円が計上されているが、学割での利用者へのくらし見込んでこの額としたのか。

答 平成23年度は7267人の学割利用者があり、平成24年度は、4月から12月末までの9カ月間で5746人の利用があったことから、平成25年度については、毎月約600人の学割利用があると想定して算出した。

福祉バス運行事業について

問 福祉バスの利用登録者は順調に伸びてきたが、一部の便で慢性的な遅延が発生しており、当初目的としていた保健センターで「つつじ号」と「もくせい号」を乗り継ぐこ

とができない時間帯もあるように聞く。平成25年度は、この目的が果たせるように何か対応する考えはあるか。

答 現在の便数やルート、乗車状況等を平成25年度に検証し、その結果により対応したい。

次世代モビリティ活用モデル事業の減の理由は

問 事業費が平成25年度は1230万5千円が計上されているが、24年度と比較し642万4千円、34.3%の減額となっている。この減額の理由は。

答 電気自動車の急速充電器及び普通充電器について、カーシェアリング

の委託先であるコールセンターでの対応が可能となったことから、そのメンテナンス費用を削減したものの。また、サイクルシェアリング車両準化業務がくるみるふっさのスタッフによって対応が可能となったほか、パンフレットやリーフレットを精査して作成したことによる減額である。

都市計画道路3・4・7号線(富士見通り)整備事業の全体計画は

問 平成34年度までに整備完了というかなり長い事業だが、見通しとして総事業費はどのくらいか。また、電線の地中化が計

画されているが、道路幅員や歩道幅員、地域の環境等、全体の計画の考え方について伺いたい。

学校図書館司書について

問 学校図書館司書を配

置することにより、既存の図書館司書教諭や図書ボランティアの方とどのように連携し、どのような効果があるのか。

学校図書館司書について

答 これまで学校図書館においては専任の図書館司書の配置はなく、司書教諭を各学校に配置していたほか、保護者が図書ボランティアとしてかかわるなどして学校図書館の充実を図ってきた。平成25年度からは、各学校図書館に専任の司書を週2日配置し、司書教諭や保護者と連携しながら、環境整備や読書活動支援、授業支援及び調べ学習等の強化等に努めていく。

答 総事業費は、現時点の概算で約22億円を見込んでいる。道路の計画幅員は16メートルで、歩道の幅員は、今年度、道路の概略設計を行った段階で決まる。この事業をきつかけに、東口の活性化も行いたい。また、地の意向も伺いながら、将来的には地区計画をかけることも視野に事業に取り組んでいきたい。

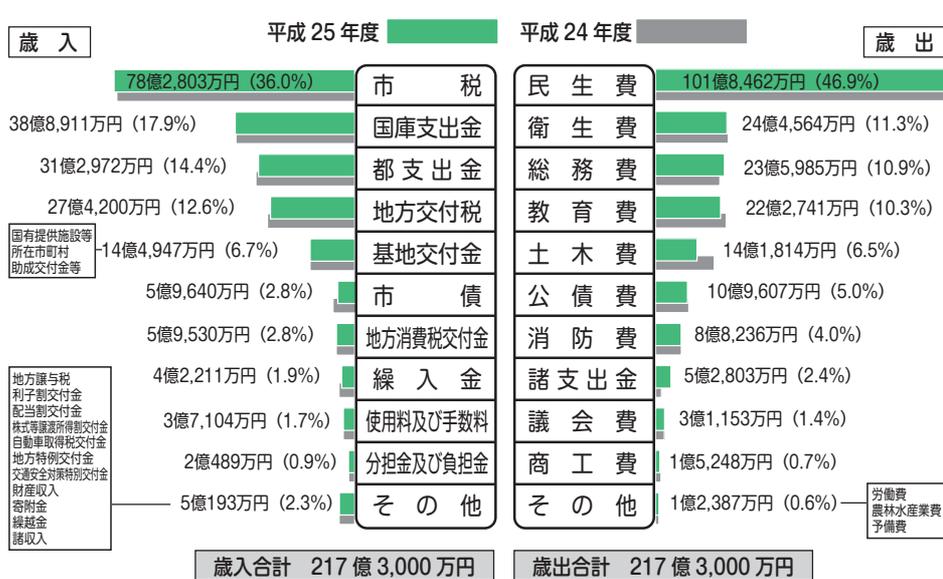


▲平成25年度一般会計予算を起立多数で可決

平成25年度 各会計別予算規模 (人口25.1.1現在 59,124人)

会計区分	25年度予算	前年比(%)	市民1人当たりの額
一般会計	217億3,000万円	△1.6	36万7,532円
特別会計			
国民健康保険特別会計	69億4,705万7千円	3.9	11万7,500円
介護保険特別会計	34億1,996万2千円	5.2	5万7,844円
後期高齢者医療特別会計	9億6,595万6千円	2.2	1万6,338円
下水道事業会計	16億3,233万6千円	△11.8	2万7,609円
総合計	346億9,531万1千円	△0.3	58万6,823円

平成25年度 一般会計予算の款別内訳 ()内の数字は合計に占める割合



PM2.5による大気汚染、感染症から市民を守るには

武藤 政義 議員

質問 環境基準を超えるPM2.5汚染、インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症にどう対処するのか。

市長 中国からの飛来で心配されるPM2.5については、東京都が装置を取り付け、その測定値が4月から公表される。感染症対策としては、マスク着用や手洗いやうがいでの予防のほか、食品取扱時、おう吐物処理時の注意などをホームページ、



▲商工会館屋上でPM2.5を測定

一般質問 (要旨)

市政のここが聞きたい

今定例会では、18人の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。質問方式は3種類の選択制で、一括方式、一問一答方式、併用方式(一括と一問一答の併用)のいずれかを議員が選択し、質問しました。

概略の掲載は一問とし4ページから5ページに掲載しました。一般質問の項目は6ページにすべて掲載してあります。

詳しくは、5月中旬発行予定の会議録を市役所情報コーナー及び図書館でご覧いただくか、福生市ホームページからご覧ください。

高次脳機能障害児童・生徒の教育にどう取り組むか

五十嵐 みさ 議員

質問 小・中学校の高次脳機能障害児童・生徒の現状をどう把握し、今後教育にどう取り組んでいくのか。

教育長 現在、在籍者はいないが、中途障害であり外見から認知しにくい。社会的コミュニケーション等で様々な困難があることは承知している。社会参加の基礎を培うため特別支援学校や特別支援学級でのきめ細かな配慮を要する教育が必要

であり、今後研究を進めていきたい。



新学校給食センターについて

申田 金八 議員

質問 新学校給食センターは、災害時対応施設の1つとして考えているのか。

市長 災害時対応施設の整備を進めたいと考えており、災害時は対応拠点施設とし、平常時は小学校給食の共同調理場として、活用を図りたい。今後、細部を詰め、最短で平成25年度に基本設計に着手し、28年度供用開始の計画で進めていきたい。



▲現在の第一給食センター

乳幼児期からの教育支援プロジェクトに関する取り組みは

乙津 豊彦 議員

質問 乳幼児期からの子どもの発達を地域における社会的つながりを通して支える、このプロジェクトに関する市の取り組みを伺いたい。

教育長 保健センターの窓口はこのプロジェクトで作成された小冊子を置いて市民への普及を図っている。今後、家庭の教育力向上への支援を教育、福祉、医療等関係部署が一体的に総合的な体制として進めるこ

とができないか調査していきたい。



▲東京都教育委員会で発行している子育て支援の小冊子

新学校給食センターは中学校給食に向け「親子方式」で

青海 俊伯 議員

質問 新学校給食センターには、将来の中学校給食を視野に入れた機能拡充を検討してはどうか。

教育長 中学校昼食対策事業は、ランチルームの整備により完結しているため、中学校給食は考えていない。まず、新学校給食センターは、衛生管理の徹底、食物アレルギー対応や災害時の炊き出し、食育教育など、安全・安心な最新の施設整備実

現を目指したい。



▲第一給食センター調理場の様子

拜島駅北口の整備の状況と今後の方向性について

岩崎 百合子 議員

質問 拜島駅北口はまだ整備不十分な感が否めない。アクセス道路は車両のすれ違いも困難である。北口の整備の方向性や手法について、市はどのように考えているのか。

市長 部分的に歩行者の安全を確保する取り組みは行っており、地域全体の整備はこれから取り組む。平成25年度以降、地元の意向や意見を伺いながら、まちづくりの方向性

や整備手法を検討していく。



▲車両のすれ違いがむずかしい拜島駅北口

再生可能エネルギー転換に対し市の担う役割は何か

柳川 英司 議員

質問 分権・分散型自然エネルギーシステムへの転換に行政としてどうかかわっていくのか。

市長 福生市環境基本計画、新エネルギービジョンに基づく諸施策に取り組む。公共施設への太陽光・太陽熱中心の再生可能エネルギーの利用拡大を図るとともに、公用車の転換やカーシェアリングなど温室効果ガスの直接削減にも取り組んでいく。



▲サイクルシェアリング「こぐまる」

自転車の交通事故を防止するためのハード面の対策は

清水 義朋 議員

質問 自転車は環境負荷も少なく、カーブミラーの設置を行っている。東日本大震災以降、利用者も増えているが、道路や標識、路面標示などハード面の安全対策を伺いたい。

市長 道路標示による自転車専用通行レーンの設置や、路面標示のシールやガードレールの垂れ幕表示による自転車通行帯の明示のほか、自転車の飛び出しを防止する自転車専用ストップマークの路面標示や、



▲スタントマンによる事故の再現が行われた交通安全教室(第三中学校)

社会環境の変化に対する学校給食の対応を問う

田村 正秋 議員

質問 中学校給食を求める声も多いが、今後どう検討していくのか。小学校給食でのアレルギー対策は、

教育長 中学校昼食対策として、現在のランチルーム方式を継続していきたい。食物アレルギー対策では、アレルギー疾患用指導表を保護者に提出してもらい、牛乳の提供の中止や、事前に使用食材が明記された献立表から保護者が飲食を判断する



市民が住み慣れた自宅で療養や看取りをうけるには

堀 雄一朗 議員

質問 自宅での療養や看取りを願う人は多い、本人と家族の希望する療養とケアの実現にどう取り組むか。

市長 自宅で療養を望むが、実現が難しいとの調査結果は、理由に家族への負担とともに急な病状への対応の不安が挙げられる。西多摩医師会等では、在宅療養対応医院の情報提供等の試みを行っている。高齢者が安心して在宅療養を受けるために

は医療と介護の連携が重要と考える。



自治基本条例を総合計画に入れることの意義は

杉山 行男 議員

質問 自治基本条例を第4期基本計画に入れて実施しようとする基本的な考え方は。また、実施するために必要なことは何か。

市長 地方分権改革が進み、市民との協働も進んできたことから、前期基本計画で取り組む主な事業の一つにあげた。市民は、まちづくりのための自立した活動を営む権利を持つが、権利と責務を明確にした上で

条例の策定をする必要がある。



▲福生市総合計画（第4期）

スクールソーシャルワークの充実で子ども支援を

阿南 育子 議員

質問 日々の困難に対し子どもの側に立ってサポートするスクールソーシャルワークをどう考えるか。

教育長 平成20年から補助事業としてスクールソーシャルワーカー活用事業を行い、子ども家庭支援センターとともに不登校の改善、いじめや問題行動の解決に成果を上げてきた。子どもと家庭への一層の支援のため、今後とも関係機関と連携し

た組織的対応で充実を図っていく。



▲校庭で元気に遊ぶ子どもたち

町会・自治会の募金が半ば強制的になってはいないか

末次 和夫 議員

質問 本来、募金は個人の自発的な善意の行為だが、町会・自治会への加入率の維持、向上や負担軽減の観点からも検討すべきでは。

市長 現在、町会・自治会にお願いしている募金活動は4つあるが、いずれも寄附者の自発的な協力を基礎とするものである。戸別募金活動を行う町会・自治会の皆様も、あくまでボランティアとして募金活動に

協力いただいている。



▲花の植栽（牛二町会）町会自治会活動より

体罰禁止の徹底に対し市が取り組むべきことは

原田 剛 議員

質問 部活動を含めスポーツ指導に体罰がなくなる。学校教育法でも禁止された体罰をどう考えるか。

教育長 体罰は明らかな暴力であり、厳しい指導などと正当化するのは誤りとの認識が必要だ。文部科学省の依頼による実態調査を全小中学校に対し実施しているが「体罰はいかなる場合も行ってはならない」というのが本市の見解であり、校長

会等を通して徹底を指導している。



▲体罰根絶に向けた教育研修用パンフレット（東京都教育庁編集）

スポーツ祭東京2013における福生市の受け入れ態勢について

大野 聡 議員

質問 この秋開催されるスポーツ祭東京2013で、福生市では成年女子ソフトボールが行われるが、市民の皆様の協力体制と来場者へのおもてなし活動について伺いたい。

市長 市民の皆様には、PRサポーターへの登録や競技会ボランティアの協力などをお願いしたい。また、町内清掃でまちをきれいにし、花いっぱい運動などで歓迎装飾を行っ

て、笑顔で明るく来場者を迎えたい。



▲市役所庁舎のPR装飾

餓死・孤立死事件の実態をどう捉えどう対応するのか

奥富 喜一 議員

質問 生計中心者や介護者の死亡により家族が餓死したり孤立死している。市は実態をどう捉えていくか。

市長 孤立死の定義も明確でないことから全国的にも実態の把握が難しい。市では、行政窓口での見守りや市民通報をもとに速やかに安否確認をして孤立死を未然に防ぐとともに、法令にのっとった適正な生活保護費の支給、運営を関係機関との

連携により行っていく。



ごみ減量施策としての生ごみの堆肥化について

大野 悦子 議員

質問 生ごみの堆肥化は、市民の誰もが減量の意識を持って取り組むことのできる身近な方法だが、積極的に推進する考えはあるか。

市長 ごみ減量の取り組みとして、市では家庭用生ごみ堆肥化容器の貸与、家庭用生ごみ減量化処理機器購入への補助などを行っている。生ごみ減量化の方法について、今後、設置目的や設置する場所、周辺の環境、

コストの視点から検討したい。



▲市で貸与している生ごみ堆肥化容器

「声の市議会だより」をお届けしています

音訳ボランティア「福生いとでんわ」の皆さんにご協力いただき、市議会だよりの音訳をデジ方式のCDにして、視覚障害者（1・2級）の方にお届けしています。

ご家族やお知り合いの方で、ご希望の方がいらっしゃいましたら、議会事務局にご連絡ください。

☎042-551-1523

○デイジー（DAISY）とは

デジタル録音図書国際標準で、聴きたいところをすぐに検索できるなど、情報検索性に優れています。

専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。（利用者一割負担）

ご利用くださいインターネット議会中継

積極的に議会情報をお届けしていきますので、ぜひご利用ください。

◆配信内容

本会議のライブ映像と録画映像
※録画映像は、過去の会議を会議名や議員名、用語などで検索してご覧いただけます。

◆アクセス方法

福生市公式ホームページ
(<http://www.city.fussa.tokyo.jp/>) にアクセスして「福生市議会」→「インターネット中継」の順にクリックしてください。

地産地消の太陽光発電事業を市の積極施策に

池田 公三 議員

質問 太陽光発電協働推進事業は、市民からの提案待ちでなく、積極的に市の施策に位置づけてはどうか。

市長 税外収入確保の面からも公共施設の屋上などの活用は考えられるが、設置の条件や建物への影響、また導入資金や運営方法など考えなければならない課題も多い。平成25年度には環境課を中心とした庁内プロジェクトチームを組織し、検討

を進めていきたい。



▲住宅用太陽光パネル

平成25年 第1回
福生市議会定例会

一 般 質 問

通告者の下欄に質問方式を表示しています。

質問方式は、一括方式、一問一答方式あるいは併用方式(一括と一問一答の併用)の選択制となっています。

(通告順に掲載)

通告者	質問内容	通告者	質問内容
① 串田 金八 (一括)	1 新学校給食センターについて (1)新学校給食センター用地の確保について (2)新学校給食センターの検討状況と今後の見通しについて	⑪ 末次 和夫 (併用)	1 町会、自治会について (1)町会、自治会の区割りと学区について (2)町会、自治会の募金等の活動について (3)行政協力員の報酬について (4)自主防災組織との関係について 2 道徳教育について (1)現状及び2年間の成果について (2)公共心、公衆道徳及び偉人伝について
② 青海 俊伯 (一問一答)	1 児童デイサービスについて (1)市内での事業開始の状況について (2)市としての今後の支援のあり方について 2 ランチルームと新学校給食センター建設について (1)ランチルームの利用状況など現状についての評価 (2)ランチルーム(中学校昼食対策)の総括 (3)ランチルームの新たな役割の明確化について (4)既存の学校給食センターの課題解決について (5)新学校給食センターの建設予定地について (6)親子方式を視野に入れた新しい機能の拡充について	⑫ 大野 聡 (一括)	1 スポーツ祭東京2013第68回国民体育大会福生市開催競技について (1)各会場の試合日程について (2)開催中の観客の会場までの交通アクセスについて (3)運営体制について (4)市民の協体制と来場者へのおもてなし活動について 2 道路、橋梁、下水道等の整備(改修)計画について (1)道路、橋梁、下水道等の改修工事等の現状について (2)今後の改修工事の年次計画について (3)今後、予想される総工事費の概算について
③ 柳川 英司 (一括)	1 再生可能エネルギー政策について (1)福生市が担うエネルギー問題の役割について (2)重要な「まちづくり」施策に成り得る再生可能エネルギーについて (3)温室効果ガスの目標値について 2 商店街振興対策について (1)「まちづくり」の観点から商店街振興をどのように図られるか	⑬ 大野 悦子 (一括)	1 福生のごみを考える (1)福生のごみ対策の経過と現状について (2)循環型とは (3)生ごみの堆肥化について 2 プラムボックスウイルスについて (1)その後の経過と対策について
④ 田村 正秋 (一括)	1 土木行政について (1)五日市街道の拡幅について (2)産業道路(3・3・30号線)の延長工事等について (3)一小通り整備事業について 2 教育行政について (1)給食センターの建てかえについて (2)学校給食について (3)少人数学級について	⑭ 池田 公三 (併用)	1 地産地消の太陽光発電協働推進事業について (1)民生部門のCO ₂ 削減見直しについて (2)民間企業による住宅への太陽光発電パネル設置について (3)福生市の施策として位置づける必要性について 2 学校給食について (1)小学校給食の果たしている役割について (2)中学校給食について
⑤ 武藤 政義 (一括)	1 生活環境について (1)生活環境維持における市の基本的な考え方について (2)市民から寄せられる騒音、振動の苦情への対応について (3)大気汚染、感染症の対策について (4)ごみの放置について (5)地域猫制度について	⑮ 堀 雄一朗 (併用)	1 行財政改革について (1)平成25年度の取り組みについて (2)地域の元気臨時交付金について (3)省エネルギー対策について (4)定住化施策について 2 在宅医療連携の推進について (1)入院患者退院時等の連携について (2)終末期の療養とケアについて
⑥ 五十嵐 みさ (一括)	1 高次脳機能障害について (1)高次脳機能障害に対する市の取り組みについて (2)小・中学校における高次脳機能障害児童・生徒の現状と対応について	⑯ 阿南 育子 (一問一答)	1 公共施設の整備について (1)大規模改修計画とバリアフリー計画について (2)松林会館のバリアフリーについて 2 スクールソーシャルワークについて (1)スクールソーシャルワークの考え方について
⑦ 乙津 豊彦 (一括)	1 学校におけるいじめについて (1)全国におけるいじめの現状と取り組みについて (2)当市における取り組みについて 2 乳幼児期からの教育支援プロジェクトについて (1)プロジェクトの概要について (2)当市における取り組みについて	⑰ 原田 剛 (併用)	1 市営住宅について (1)市営住宅の公募について (2)入居状況について (3)連帯保証人について (4)木造平家住宅について 2 教育行政について (1)福生市の教育について (2)体罰禁止の徹底について (3)懲戒行為について
⑧ 岩崎 百合子 (一括)	1 拝島駅北口周辺整備について (1)現在の進捗状況と今後のプランについて 2 教育現場の問題について (1)福生市のめざす小・中一貫教育について	⑱ 奥富 喜一 (一問一答)	1 米軍横田基地について (1)パラシュート降下訓練について (2)オスプレイの飛来・訓練問題について (3)横田基地への飛来機について 2 餓死・孤立死の頻発と改善策について (1)餓死・孤立死事件の実態について (2)必要とする人が漏れなく生活保護が受けられることについて (3)ライフライン業者等との連携強化による緊急対応について (4)リスク層に対する積極的アプローチについて (5)総合的な見守りシステムについて
⑨ 清水 義朋 (一括)	1 自転車の交通安全対策について (1)現状の交通安全対策について (2)ソフト面の対策について (3)ハード面の対策について 2 福生市の空き家対策について (1)空き家実態調査について (2)安全・安心の観点からの空き家対策について		
⑩ 杉山 行男 (一括)	1 第4期総合計画について (1)基本構想、基本計画、実施計画について (2)平成22年度にスタートした前期基本計画の進捗について (3)自治基本条例について 2 第三中学校で実施された「我がまちの宝探し」について		

委員会の審査から

今定例会の常任委員会では、付託された議案及び陳情等の審査が3月12日、13日、14日の3日間、建設環境・市民厚生・総務文教委員会の順で行われました。

議会運営委員会は、本会議の議事日程や議案の取り扱い、議会だよりの編集等で6回行われました。

また、横田基地対策特別委員会、災害に強いまちづくり特別委員会が3月15日に行われました。

ここでは、各常任委員会及び各特別委員会から報告された主な審査概要をまとめました。

建設環境委員会

3月12日に委員会が開催され、議案12件と陳情2件を審査しました。主な内容は次のとおりです。

●福生市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例の一部を改正する条例

現在、条例に定められた一般廃棄物施設技術管理者の要件を満たす市職員の有無について。

答 一人に職している。

●福生市駅前駐車施設の設置及び使用に関する条例の一部を改正する条例

市の管理となった牛浜駅西口タクシー駐車場3台分の使用料及びタクシー会社について。

答 使用料は福生駅同様1台につき月額6千円。タクシー会社は、近隣及び市内5社で構成するタクシー協議会と契約し、運営を一任していく。



▲牛浜駅西口タクシー駐車場

●福生市都市公園条例の一部を改正する条例

市内で都市公園に該当する公園について。

答 都市公園法に基づく公園は74公園中51公園。

●福生市営住宅条例の一部を改正する条例

木造市営住宅解体後の跡地の活用について。

答 建築後50年を経過し、老朽化や耐震性の問題があり、すべて解体の予定。その後の活用については未利用地検討委員会等での検討の結果、富士見通り整備事業の代替用地、また、売却による個人住宅用地などを考えている。

市民厚生委員会

3月13日に委員会が開催され、認定こども園福生多摩幼稚園について現地視察を行い、議案10件と陳情1件を審査しました。主な内容は次のとおりです。

●平成24年度福生市一般会計補正予算(第5号)(歳出予算のうち建設環境委員会所管分)

特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業費が2千2百万円の減となった理由について。

答 当初の建築物の対象件数は14棟だったが、再度の調査で対象要件外の建築物が3棟あり11棟となった。平成25年度までの助成事業であり、対象建築物の所有者には、東京都と共に説明を行い理解を求めているが、結果として平成24年度実績はゼロで、予算執行ができなかった。なお、現在申請が1件、申請の準備中



▲認定こども園福生多摩幼稚園を視察

が4件、残り6件は交渉中である。

●平成25年度福生市下水道事業会計予算

下水道使用料が約9千万円減の理由について。

答 横田基地の汚水の排水量の減だが、今のところ減となる原因が特定できず、北関東防衛局に調査要請を行っている。

以上その他、議案5件、陳情1件が原案のとおり可決、採択されました。

市民厚生委員会

3月13日に委員会が開催され、認定こども園福生多摩幼稚園について現地視察を行い、議案10件と陳情1件を審査しました。主な内容は次のとおりです。

●障害者自立支援法等の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例

法律の改正に伴う条例だが法改正の特徴は。

答 障害者自立支援法が障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に名称が変更された。

●福生市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例

国の省令を条例にすることをメリットとデメリットは何か。

答 メリットは市独自の基準を設ける裁量が増加した点、デメリットはこ

の条例作成に大変な労力を要した点である。

●平成24年度福生市介護保険特別会計補正予算(第2号)

高額介護サービス費の推移について。

答 毎年約5百万円増加、今回7百万円を追加した。

●平成25年度福生市国民健康保険特別会計予算

税率等の改定による影響額と、一人当たりの影響額は。

答 平成24年度と比較して1億円、一人当たり約4千9百円の増収増を見込んでいる。

総務文教委員会

3月14日に委員会が開催され、開会後、第三中学校に開設された通級指導学級の視察を行い、その後議案9件陳情1件を審査しました。主な内容は次のとおりです。

●福生市行政手続条例の一部を改正する条例

公立保育園がなくなったことによる改正だが、文言を残した時の不具合は。

答 特に不具合はないが、今後、改正忘れと思われることもあるための改正。

●福生市公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例の一部を改正する条例

者という文言を当該団体とした理由は。

答 指定管理者制度は自治法に個人は含まれないこととなっているので、

混乱を防ぐため改めた。

●平成25年度福生市後期高齢者医療特別会計予算

ジェネリック医薬品差額通知の実施は。

答 4月以降の実施に向けて検討を進めている。

以上その他、4件の議案審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。陳情1件は引き続き審査していくこととなりました。



▲第三中学校の通級指導学級を視察

●福生市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

今回引上げに至った理由は。

答 都の最低賃金引上げにより、パートタイマーと嘱託員報酬の差が縮まったことや、他市との賃金を比較し改正となった。

●福生市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例

●福生市教育委員会教育長の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例

●福生市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

職員給与改正での影響額は。

答 影響額全体では619万4千円となる。

●福生市行政財産使用料条例の一部を改正する条例

税外収入の関係で、該当する自販機の台数、収入見込みは。

答 指定管理者の施設を除き、31台、約4百万円の収入を見込んでいる。

●福生市体育施設条例の一部を改正する条例

市営プールの指定管理者には、時間外、利用期間外も含めどのような期待をされているのか。

答 利用の拡大やサービス向上につながる提案を期待している。

●平成24年度福生市一般会計補正予算(第5号)(歳入予算全般及び歳出予算のうち総務文教委員会所管分)

以上9件、原案のとおり可決しました。陳情1件は、引き続き審査していくこととなりました。

議会運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が閉会中も含め6回開催されました。



福生市議会も応援しています！ スポーツ祭東京2013 第68回国民体育大会

市内にゆりーとが続々出現！

今年開催されるスポーツ祭東京2013（第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会）をPRするため、「市役所庁舎」をはじめ、「福生野球場」、「福生駅」、「牛浜駅」などに、国体PR装飾を行いました。

また、「福祉バス」にもラッピング装飾を行い、国体終了までの期間限定で「ゆりーと」が描かれた福祉バスが市内を巡回します。PR装飾には、色々なゆりーとが描かれています。



▲牛浜駅

みんなで国体を盛り上げよう！

第68回国民体育大会ソフトボール競技会(成年女子)

【会期】平成25年9月29日(日)～10月1日(火) 【会場】福生野球場・市営競技場

次回定例会のお知らせ ◎傍聴にお出掛けください。

平成25年第2回定例会は、6月4日(火)から6月21日(金)までを予定しています。

◆本会議(予定)午前10時開会

6月4日(火)～6月7日(金)及び6月21日(金)

◆常任委員会(予定)午前10時開会

6月11日(火)～13日(木)

◎議場には、補聴器をお使いの方のために、補聴器に直接音声を送る磁気ループを導入しています。

次に、避難所運営マニュアル作成モデル(素案)について、理事者より説明があり、質疑を行いました。これは大災害発生時に、地域住民の避難所の運営を円滑に行えるよう、設置から撤収までのマニュアルを作成するためのモデルです。

次に、災害に強いまちづくり特別委員会調査結果報告書について、市長に提出しました。先に市長に提出した提言書の内容が福生市地域防災計画修正素案において反映されていることを確認し、付議事件の調査を終了することとしました。そして、災害に強いまちづくり特別委員会調査結果報告書を可決し、委員長から議長に送付することを決定しました。

2 平成25年度基地関係国予算について
基地関係の国の予算については、防衛省所管の基地周辺対策経費は前年度より0.3%削減、総務省所管の基地交付金及び調整交付金は、3%の増額の予定との説明がありました。

4 横田基地に関する情報等について
12月議会以降の横田基地に関する情報について説明がありました。「ヨコタティーンセンター」の中高生と本七町会有志約30名による道路清掃活動、基地における演習米兵の新たな勤務時間外行動指針の実施、東京都と周辺市町連絡協議会による防衛施設周辺対策制度の見直し要請、日米合同委員会合意事項など9件の報告がありました。

今年の冬はこのほか寒い日が続いたように感じます。3月に入ると強風が吹き荒れ煙霧も見られました。◆国から地方に権限を移譲するため地域主権改革一括法による地方自治に関する法律の施行が本年4月1日に迫っていることから条例の制定や改正が多く上程され、議案の数は36本に及びました。一般質問も18名の議員から通告され議会運営に苦勞した定例会となりました。◆一般質問の通告時間を60分以内とし効率よく質問を終わらせました。25年度予算の審査でも、効率よい質疑を行うことにより審査時間の短縮をはかり、開始時刻を30分遅らせましたが毎日定時に審査を終わりました。◆午後5時前に終了しました。これからも議会改革に取り組んでまいります。◆一昨年の予算審査最終日に東日本大震災が発生し、総括質問を文書で行ったことを思い出します。立川断層帯地震を想定した地域防災計画の素案が示されました。断層帯の調査に誤認があったようですが、万全を期したいものです。◆気まぐれな天候に戸惑いながら桜まつりが行われました。春らんまん。

議会の動き

平成25年1月21日と3月18日の2回にわたり第3次議会改革検討協議会が開催され、「議会運営委員会の委員構成について」と「議員定数の削減について」の2件が検討されました。

まず、議会運営委員会の委員構成については、現在、会派制をとっており、一人会派もメンバーに加えています。協議事項について意見が、全会一致でまとまればいいのですが、まとまらない場合、採決で決めることとなります。現在メンバーには、一人会派を認めています。会派の比例配分による委員構成でないため、不公平が生じるのではないかと意見から、検討課題となったものです。

意見としては、従来どおり一人会派を入れた方がよいとの意見や、会派の比例配分から、一人会派は入れない方がよいとの意見、また、委員の会派構成については2人以上として、一人会派については、採決には加われないがオブザーバーとして、会議に出席してもらうこととしたらどうかとの意見が出されました。

続いて、議員定数の削減についても検討を行いました。

その中で、平成18年に、議員定数22人から20人に削減したときには、福生市の人口6万人に対する議員一人当たりの人口を約3千人にした経緯があるが、現在人口が減っており、議員を1人か2人程度削減した方がよいとの意見がありました。

また、別の意見として、市民の多様な意見をより市政に反映させるために、市民の代表である議員の定数については、現在の社会的な流れを考慮しても、今より1人ないし2人ふやした方がよいとの意見がありました。

検討課題2件については、両論併記して、議会運営委員会に報告することになりました。

特別委員会活動から…

災害に強いまちづくり特別委員会

3月15日、第18回委員会を開催しました。

初めに、福生市地域防災計画の修正素案について、理事者より説明があり、質疑を行いました。

この改定は、東日本大震災を含む過去の災害から得られた防災対策への知見を反映し、東京都における地域防災計画との整合性を図るとともに、現実に即した実効性のある計画とするため行われるものです。この素案には、本委員会において審議し、平成24年第4回定例会で可決し、市長に提出された提言書の事項がどう反映されたかについて説明されました。

は福生市と福生市社会福祉協議会との間で平成19年に締結された「災害時におけるボランティア活動に関する協定書」について、「市外被災地への支援」の項目を新設し、福生市社会福祉協議会が福生市からの依頼もしくは独自の判断で市外被災地への支援を行えるようにするものです。

横田基地対策特別委員会

3月15日に委員会が開催され、次の4件について理事者の説明後、協議を行いました。

1 平成25年度防衛補助事業費等の実施予定について
防衛補助事業関係では、民生安定施設の助成事業(8条)関係で、市道幹線II-19号線外1改良事業、福東緑地整備事業、玉川上水緑地日光橋公園等整備事業、消防ポンプ自動車更新事業の実施。特定防衛施設周辺整備調整交付金事業(9条)関係で、武蔵野台児童館冷暖房空調設備事業、消防団車庫改良事業、わかたけ会館改良事業を実施し、残額は特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金に積立てるとの説明がありました。また再編交付金事業は、福祉バス運行事業、特定健康診査等追加項目検診委託料、妊婦健康診査委託料、宿泊学習教室事業(中学校)等7事業に充当するため全額基金に積立てるとの説明がありました。

3 航空機騒音に係る環境基準の一部改正について
環境省の環境基準の改正により、4月1日から航空機騒音の評価指標を今までの加重等価平均感覚騒音レベル(W E C P N L)から時間帯補正等価騒音レベル(L d e n)となることの説明がありました。



▲調査結果報告書を市長に提出

次に、災害に強いまちづくり特別委員会調査結果報告書について協議しました。先に市長に提出した提言書の内容が福生市地域防災計画修正素案において反映されていることを確認し、付議事件の調査を終了することとしました。そして、災害に強いまちづくり特別委員会調査結果報告書を可決し、委員長から議長に送付することを決定しました。



▲防衛補助事業で購入した消防ポンプ車

編集後記

今年の冬はこのほか寒い日が続いたように感じます。3月に入ると強風が吹き荒れ煙霧も見られました。◆国から地方に権限を移譲するため地域主権改革一括法による地方自治に関する法律の施行が本年4月1日に迫っていることから条例の制定や改正が多く上程され、議案の数は36本に及びました。一般質問も18名の議員から通告され議会運営に苦勞した定例会となりました。◆一般質問の通告時間を60分以内とし効率よく質問を終わらせました。25年度予算の審査でも、効率よい質疑を行うことにより審査時間の短縮をはかり、開始時刻を30分遅らせましたが毎日定時に審査を終わりました。◆午後5時前に終了しました。これからも議会改革に取り組んでまいります。◆一昨年の予算審査最終日に東日本大震災が発生し、総括質問を文書で行ったことを思い出します。立川断層帯地震を想定した地域防災計画の素案が示されました。断層帯の調査に誤認があったようですが、万全を期したいものです。◆気まぐれな天候に戸惑いながら桜まつりが行われました。春らんまん。